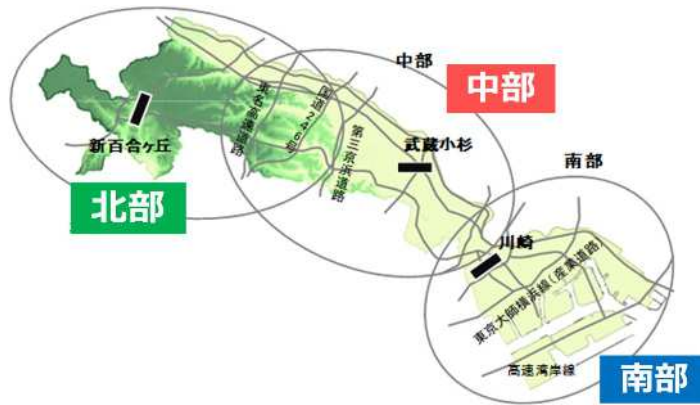


(4) 地域の特性を踏まえた取組

ア 地域の特性について

本市は、政令指定都市の中では面積が一番小さい（一番大きい浜松市の10分の1以下）ですが、土地利用の状況や河川・海域と水生生物の状況等を比較すると、地域ごとに以下のような特性があります。



地域の特性について

(ア) 南部・・・主に川崎区

産業道路以南の工業専用地域は東京湾に面し、石油化学、鉄鋼、発電所等の大規模な工場が集積しており、近年では研究開発機関や物流施設の集積も進んでいます。また、産業道路以北では工場跡地に大規模集合住宅が建設されるなど、工業・商業地域の一部が住宅地となっており、工場・商業施設・住宅が混在しています。

環境面では、大型車交通量の多い幹線道路（産業道路等）が存在し、沿道等で二酸化窒素の濃度が高い場所が見られます。河口干潟には多様な生物が生息しています。下水道は、市街地は合流式区域で、工業専用地域は下水道処理区域外となっています。

(イ) 中部（内陸部）・・・主に幸区、中原区、高津区

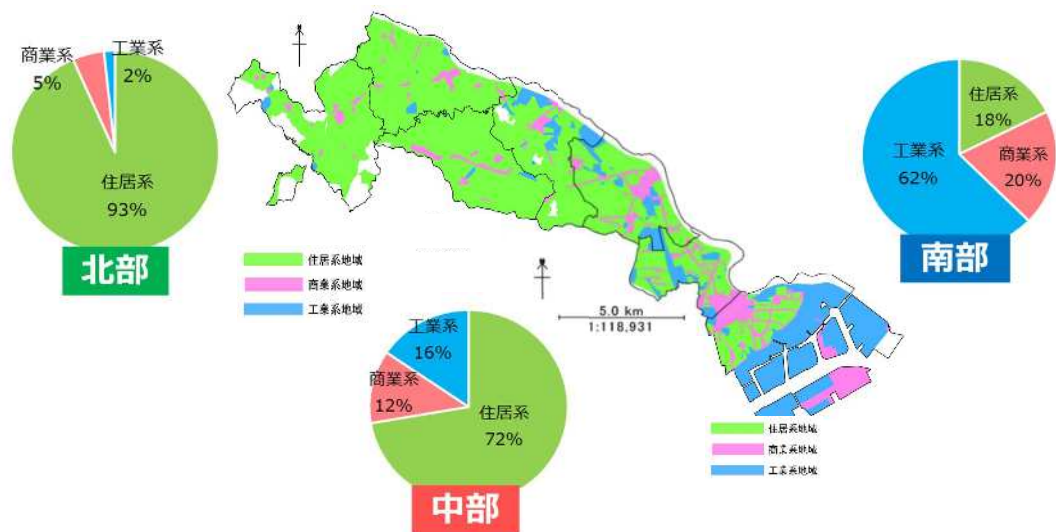
多摩川沿いに広がる比較的平坦な地域です。道路・鉄道網が発達し、交通利便性が高いことから、大規模集合住宅が多く、近年、若年層人口が増加しています。また、住宅地と中小規模の工場、商業地、研究施設等が混在している地域でもあります。

環境面では、河川が市街地近くを流れ、親水護岸整備区間があります。市を横断する幹線道路も居住地近くに存在しています。下水道は合流式区域と分流式区域が混在しています。

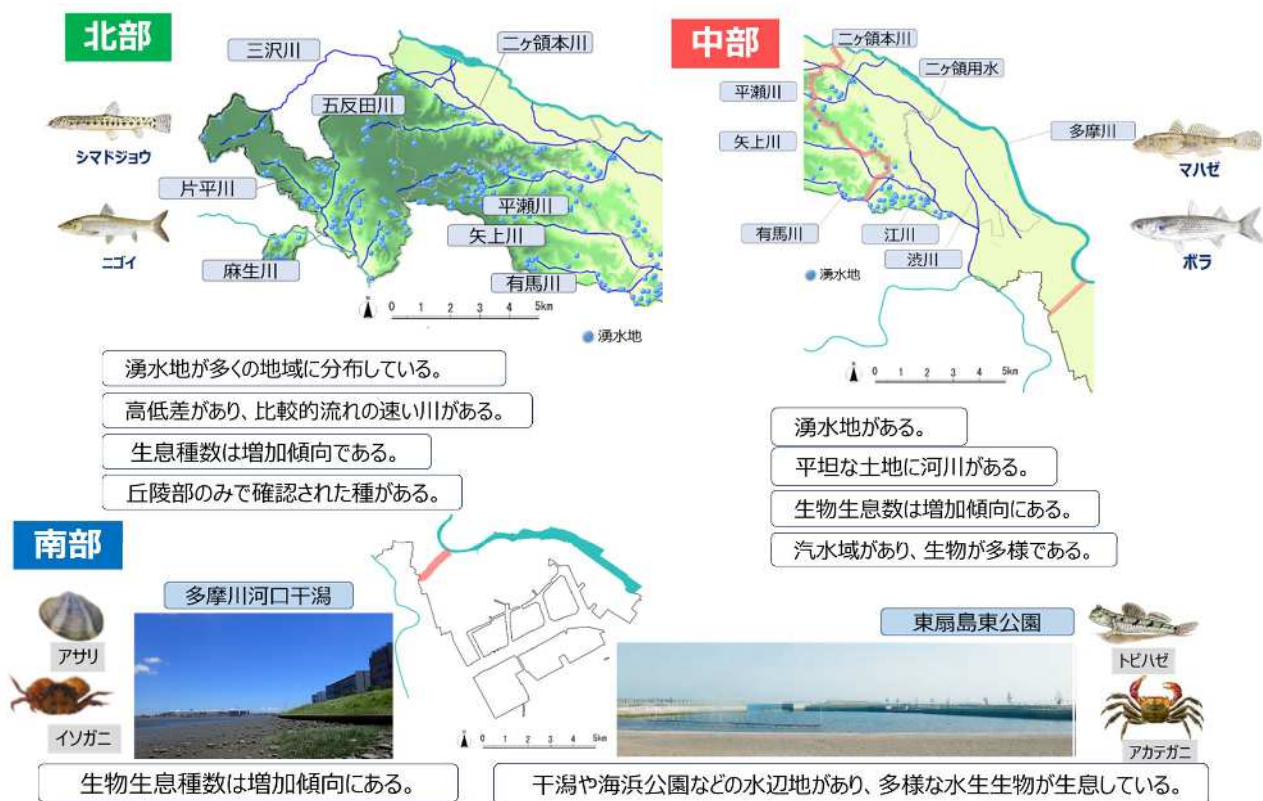
(ロ) 北部（丘陵部）・・・主に宮前区、多摩区、麻生区

生田緑地や多摩丘陵等、豊かな自然が残されています。一方で、定住化する都市型住宅が多くなっています。

環境面では、豊かな緑が多く、湧水も多く存在しています。河川には親水護岸整備区間があります。下水道は分流式区域となっていますが、浄化槽も存在しています。



土地利用の状況



河川・海域と水生生物

イ 地域の特性を踏まえた取組

地域ごとの特性を踏まえて、本市を南部（臨海部）、中部（内陸部）北部（丘陵部）ごとに、それぞれの地域で令和5（2023）年度に実施した取組や環境データを紹介します。

（ア）令和5（2023）年度に実施した南部の取組

a 産業道路クリーンライン化キャンペーン

令和5（2023）年11月から令和6（2024）年2月にかけて、産業道路を利用する事業者に対し、低公害車優先使用やエコドライブなど環境にやさしい行動に取り組むよう呼び掛ける「産業道路クリーンライン化キャンペーン」を実施しました。



市バス等の車内にキャンペーンのポスターを掲出

（イ）令和5（2023）年度に実施した中部（内陸部）の取組

a 夏休み多摩川教室

多摩川とさまざまな形で触れ合うことにより、多摩川の水質や自然環境、防災等について興味や関心を深める機会として催される「夏休み多摩川教室」に出展しました。



「夏休み多摩川教室」開催の様子

(ウ) 令和5(2023)年度に実施した北部(丘陵部)の取組

a 夏休み水環境体験教室

川崎北部の自然豊かな湧水地(黒川よこみね緑地)を活用して、水環境について学んだり、水辺の生き物と触れあう夏休み水環境体験教室を実施しました。



「夏休み水環境体験教室(黒川よこみね緑地)」開催の様子